

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.9.1

No. 41

企業が求める人材はやる気とガッツのある人！

今就職試験を前にした皆さんは、会社で働くということをどのように考えていますか。「いわれたことをまじめにしっかり取り組めばよい」と考えるとすればそれは企業から見れば最低限の当然なことで、それだけの人間では真に必要とされません。日本の各企業にとっては、グローバル経済の中で、世界的競争にいかにか勝ち抜くかがきわめて深刻となっています。特に今年の大震災及び福島原発の事故以降、国内の大手企業の業務の海外移転が急速に進みつつあり、今後一層それが加速化し、日本国内の産業の空洞化は皆さんが考えている以上に深刻な問題となっていくでしょう。



今年の高校生の就職戦線も大変厳しい状況ですが、おそらくこの傾向は今後さらに増していくでしょう。もはや日本の企業は世界一の技術力を持っているなどといえない状況になりつつあります。中国や東南アジアの国々の技術力は日増しに高まっているなかで、日本は人件費が高く、他の国やほかの会社が出来ることをやっていたのでは生き残れません。

自ら考え、他の人がやれないようなことに果敢にチャレンジしていくような企業でないと、日本国内では生き残っていけないのです。だからこそ企業が求める人材はただいわれた通りに一生懸命やるだけの人材ではなく、新しいことに果敢にチャレンジしていくガッツを持ち、自ら考え自ら工夫が出来るようなタイプの人材を求めるのです。それは単なる学校の成績ではなく、やる気と創意工夫と気働きの出来る人材か否かが問われるのです。

今就職試験を目の前にしている皆さんは、ただ受け身的に考えているだけではだめです。もう一度こうした日本の産業界の置かれた状況と企業の求めるニーズを意識し、こうしたニーズに少しでも貢献できるよう、これから自分がどう仕事に関わっていったらよいかを考えて欲しいものです。



ある優良企業の例

先日箕輪町のある企業を見学してきました。その企業は一週間ほど前に新築移転したばかりの会社でした、この厳しい時代によく思い切ったことをするものと思い社長さんに色々お話を伺うとその内容に感心させられました。

十数年前に勤めていた会社を辞め、自ら会社を設立したとのことですが、現在売り上げが六億くらいとのこと。この会社は自らNC工作機械を設計し、部品はすべて外注に出し、自社で組み立てて、その機械を納めているいわばメーカーであり、その製品の多くは国内の大手企業へ納めるだけでなく海外へも輸出しているとのこと。従来の方式とは異なる独自の発想でレンズ研磨の機械を中心に作り、その機械を使うことにより従来の半値以下のコストで従来を遙かに上回る精度の製品が出来るとのこと。その国際特許の申請もしているとのこと。

まさに自ら独自の視点で新しいものを考えだし、それを製品化しているこうした企業こそがこれからの日本に求められる企業像ではないかと改めて感じてきました。企業規模はまだ小さいがこの地域にはすばらしい企業がほかにもあります。そうした企業で働く人にとっては大変だろうが真のやりがいを感じられるのではと感じました。